

第 81 期 事業 報告 書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 東京海上各務記念財団

I. 事業 の 状 況

事業計画で掲げた 3 つの事業カテゴリ、公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業、公益事業 2 ASEAN 諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業、及び公益事業 3 研究助成事業（若手研究者の学術の研究及び普及、並びに地震研究）に対する助成事業を行った。

この結果、第 81 期事業年度の奨学金、助成金の支出額は、合計 84,462,000 円、公益事業費合計は 106,741,445 円となった。

なお、事業費には公益法人の会計基準に則り、管理費の一部を加えている。

事業毎の実施状況は次のとおり。

公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業

(1) 事業内容

本事業は、昭和 14 年財団創設以来、当財団の事業の根幹をなすものである。本年度は 4 月に指定 17 大学より 39 名採用し、在籍者計 101 名に対して奨学金月額 45,000 円を給与した。また、平成 29 年 10 月に海外留学支援制度を設け、留学時の奨学金月額 50,000 円を 4 名に対して給与した。

当期の奨学金は 54,260,000 円、事業費総額は 66,890,709 円であった。

奨学生の所属大学及び人数は、次のとおりである。

東大 17 名、一橋大 10 名、東工大 6 名、筑波大 6 名、筑波技術大 6 名、
東外大 3 名、慶大 9 名、早大 8 名、中央大 3 名、上智大 4 名、京都大 9 名、
東北大 6 名、名古屋大 4 名、大阪大 4 名、高知大 2 名、北海道大 2 名、九州大 2 名
計 101 名

(2) 主要な事業活動

① 奨学生の選考及び奨学生証授与式（平成 29 年 5 月 31 日）

候補者の面接及び選考委員会の審議を経て当期採用の奨学生を決定し、奨学生証授与式にて財団理事より奨学生証を手渡した。

② 日本の文化にふれる会

歌舞伎鑑賞教室（平成 29 年 7 月 8 日 国立劇場）には、国内奨学生・ASEAN 奨学生・OBあわせて 51 名が参加、文楽鑑賞教室（平成 29 年 12 月 18 日 国立劇場）には同じく 15 名が参加し、それぞれ懇親会を開催した。

③ ASEANを知る会

ASEAN 奨学生を講師に、ASEAN 諸国についての理解と奨学生間の交流を深めることを目的として今年度は 2 回開催した。「ベトナムを知る会」（平成 29 年 10 月 18 日）には国内奨学生・ASEAN 奨学生・OBあわせて 12 名が参加、「イスラム社会を知る会」（平成 30 年 2 月 19 日）には同じく 17 名が参加した。

- ④ 奨学生向けセミナー（平成 29 年 9 月 14 日）
東京海上研究所から講師を招き、「地球温暖化と気象災害」「自動運転自動車社会を考える」をテーマに開催した。国内奨学生・ASEAN奨学生あわせて 21 名が参加した。
- ⑤ SNSの活用及び「友情の絆」発行（平成 29 年 10 月）
財団 facebook グループを活用し、奨学生間のタイムリーな情報共有・意見交換を行い、相互理解を深めた。また、機関誌「友情の絆」を毎年発行している。
- ⑥ 国内奨学生・ASEAN奨学生交流の集い（平成 29 年 11 月 10 日）
OB・OGを含む国内奨学生・ASEAN奨学生の年一度の交流会を開催した。参加者は総勢 150 名を超えた。
- ⑦ 次年度奨学生募集活動（平成 29 年 11 月～12 月）
指定 17 大学を往訪し、募集要項の説明を行った。

公益事業2 ASEAN諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業

本事業は、東京海上火災保険株式会社（現東京海上日動火災保険株式会社）の創立110周年記念事業の一環として平成2年から開始した事業であり、同社からの毎年の寄付金をもとに実施している。

（1）事業内容

ASEAN諸国から当財団が指定するわが国の大学の大学院（修士・博士課程）へ私費留学している学生を対象に奨学金を給与するもので、本年度採用した4名を含む在籍者10名に対して奨学金月額180,000円を給与した。

その結果、当期の奨学金は19,800,000円、事業費総額は27,121,751円であった。

奨学生の所属大学、人数及び国籍は次のとおりである。

東大3名（ベトナム2名、タイ1名）、一橋大2名（ベトナム）、
東工大2名（インドネシア、タイ）、筑波大1名（インドネシア）、
早大1名（ベトナム）、上智大1名（ベトナム） 計10名

（2）主要な事業活動

- ① 奨学生の選考及び奨学生証授与式（平成 29 年 5 月 31 日）
候補者の面接及び選考委員会の審議を経て当期採用の奨学生を決定し、奨学生証授与式にて財団理事より奨学生証を手渡した。
- ② 日本の文化にふれる会開催（平成 29 年 7 月 8 日、12 月 18 日）
公益事業1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動②に記載
- ③ ASEAN日本在住奨学生合同同窓会（平成 30 年 3 月 4 日）
昨年度までは国別に開催してきたが、ASEAN奨学生すべての国を対象に初めて合同開催した。マレーシア、ベトナム、シンガポール、インドネシア、タイ出身のOB8名、現役奨学生9名とその家族が参加した。

- ④ 奨学生向けセミナーの開催（平成 29 年 9 月 14 日）
 公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動④に記載
- ⑤ 「友情の絆」発行（平成 29 年 10 月）及び SNS の活用
 公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑤に記載
- ⑥ 「国内奨学生・ASEAN 奨学生交流の集い」（平成 29 年 11 月 10 日）
 公益事業 1 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑥に記載
- ⑦ 次年度奨学生募集活動（平成 29 年 11 月～12 月）
 新たに北海道大、東北大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大を加えた指定 14 大学を往訪し、募集要項の説明を行った。
- ⑧ 修了式（平成 30 年 3 月 20 日）
 当年度に大学院博士課程、修士課程を修了した 5 名（インドネシア 3 名、ベトナム 2 名）の修了式を行い、賞状を贈呈した。内訳は 3 名が日本で就職、1 名は米国で研究活動、1 名は日本で進学する。

奨学生選考委員会の構成は次のとおり。

（平成 30 年 3 月 31 日現在）

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
選考委員	飯 島 茂	平成 28 年 7 月 1 日	東京工業大学名誉教授
同	杉 山 武 彦	同	高速道路調査会理事長
同	野 村 晋 作	同	元東京海上日動常務
同	磯 貝 隼 人	同	元東京海上日動執行役員
同	長 村 政 明	同	東京海上日動経営企画部部長 CSR 室長
同	佐々木史朗	平成 29 年 4 月 1 日	東京海上日動企業営業開発部 海外業務室長
同	宇 垣 篤 志	平成 28 年 7 月 1 日	当財団常務理事

公益事業 3 研究助成事業

今期の研究助成金は以下(1)(2)を合わせて 10,402,000 円、事業費総額は 12,728,985 円 となった。それぞれの助成内容は、以下のとおり。

(1) 学術の研究及び普及に対する助成事業

本事業は、国内の若手研究者が、国内、国外を問わず行う社会科学系の研究に対する助成であり、平成 29 年 10 月 25 日に審査委員会を開催し、以下 3 件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
東京大学大学院法学政治学研究科 准教授 小島 慎 司	制度法学の現代的意義	800,000 円
東京大学大学院経済学研究科 講 師 野 原 慎 司	アダム・スミス旧蔵書資料調査	800,000 円
一橋大学経済学研究科 講 師 山 田 俊 皓	保険・金融におけるリスク計測手法の高度化	800,000 円
合計		2,400,000 円

学術研究助成審査委員会の構成は、以下のとおり。

(平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
審査委員	飯 島 茂	平成28年7月1日	東京工業大学名誉教授
同	野 村 晋 作	同	元東京海上日動常務
同	宇 垣 篤 志	同	当財団常務理事

(2) 地震研究助成事業

本事業については、地震研究助成要綱に基づき審査委員会を開催している。当期においては、平成29年7月6日、平成29年12月20日、平成30年2月26日に審査委員会を開催し、以下5件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
東京大学地震研究所 教 授 佐 竹 健 治	国際測地学協会及び国際地震学・地球内部物理学協会合同学術総会	3,000,000 円
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 主任研究員 植 平 賢 司	海域広帯域観測による福島沖の地震 (2016, M7.4) 詳細研究	1,400,000 円
東北大学理学研究科 准教授 武 藤 潤	放射光ビームラインでの高圧実験から明らかにする深発地震の発生機構	742,000 円
東北大学理学研究科 准教授 内 田 直 希	釜石沖繰り返し地震の震源直上における 海底地震観測	1,800,000 円

東京大学地震研究所 准教授 酒井 慎一	東北地方太平洋沖地震の発生後に活発化した 北アルプス及び中央構造線周辺の観測研究	1,060,000 円
合 計		8,002,000 円

地震研究助成審査委員会の構成は、以下のとおり。

(平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
審査委員	金 沢 敏 彦	平成29年11月1日	地震予知総合研究振興会会長
同	大 竹 政 和	平成28年7月1日	東 北 大 学 名 誉 教 授
同	長 屋 正 人	平成29年7月1日	文部科学省研究振興局主任学術調査官
同	宇 垣 篤 志	平成28年7月1日	当 財 団 常 務 理 事